



保健師だより

「脳卒中」

～ 前ぶれを見逃さないで！ ～

『寝たきり』『一部介助』など要介護者が40%

脳卒中は、日本人の死亡原因の3位。治療技術が進歩し、倒れた人の40%は回復して社会復帰し、死亡するケースはわずか20%。一方『寝たきり』『一部介助』など要介護者になってしまう人が40%にも上っています。

1位『脳梗塞』 2位『脳出血』 3位『くも膜下出血』

脳卒中の大半を占める脳梗塞。脳の血管が詰まったり細くなってしまい、脳の血のめぐりが極端に悪くなって起こる病気です。血液がうまく流れずに死滅した脳細胞は、二度と再生できないため、死滅した脳細胞が担当していた部分の働きが損なわれてしまいます。

見逃しやすい前ぶれ ～ 一過性脳虚血発作 ～

①半身の脱力やしびれ ②言語障害や視野障害 ③めまい

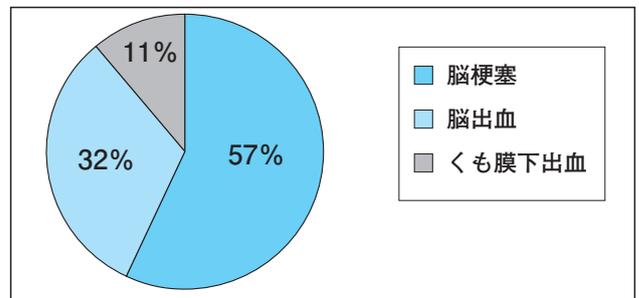
脳梗塞には2つのタイプがあります。心臓など脳以外の場所でできた血栓が血流に乗って流れ着き、脳の血管を詰まらせる『脳塞栓』は、何の前ぶれもなく突然、症状が現れます。

一方『脳血栓』の場合、『一過性脳虚血発作』という前ぶれの症状が多く出ます。半身の脱力やしびれ、言語障害や視野障害、めまいなどの症状が一時的には現れますが、簡単なときでは数分、30分から1時間も経つと元に戻ってしまい、あまり重篤感がありません。本人が重篤感を訴えないので、家族や医者もせっかくの病気の前ぶれを見逃してしまい、治療のチャンスを失ってしまうことが多いのです。

一過性脳虚血発作を起こした人は、その後に脳梗塞を発症する可能性がかなり高くなっています。

少しでもおかしいなと思ったら迷わず、すぐに脳外科を受診しましょう。

脳卒中の割合



新型インフルエンザについてお知らせ

(1) 感染予防について

- ・流水と石けんを使って15秒以上の手洗いを励行しましょう。
- ・外出後やのどに不快感があるときはうがいを行いましょう。
- ・流行時には、なるべく人ごみにいかないようにしましょう。

(2) 咳エチケットについて

- ・咳、くしゃみ等のある人は、マスクを着用しましょう。
- ・マスクを持っていない場合は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう。

※新型インフルエンザについての質問やご相談はこちらへどうぞ

管内発熱相談センター ■ 鹿屋保健所 : 0994-43-3107

■ 志布志保健所 : 099-472-1021



【お問い合わせ先】 大崎町役場 保健福祉課 健康増進係 TEL 476-1111 (内線 133)